

糸島市長月形祐二殿

国民健康保険の大幅引き上げ中止を 求める要望書

要望の趣旨

糸島市国民健康保険運営協議会は、10月6日に国民健康保険税（以下国保税とします）の引き上げを月形市長に答申しました。その内容は平均でも14%以上、特に介護保険納付分がかかる40歳以上の世帯は20%の引き上げとなり、年所得300万円の4人世帯では実に年9万円もの負担増となる苛酷なものです。

国保税は、現状でも標準的な4人世帯の場合、所得の15%前後の負担と大変厳しく、やっとの思いで納めている加入者が大半です。今年4月に消費税が8%に増税され、家計の苦しさが一段と募っているときに、これほどの引き上げは耐えがたい負担として重くのしかかってきます。

国保税を引き上げれば、払いたくても払えない加入者が増えることは間違いありません。また、家計に行政が苛酷な負担をもたらすことは市民の消費購買力を減退させ、市の経済にも大きなマイナスとなります。

答申通り引き上げれば、県内28市のうち、高い方から7番目の国保税（現在は24番目）となります。このままでは、子育て施策や福祉の住民サービスは周りの市、町より低いのに、市民負担はトップクラスという低福祉高負担の住みづらいまちになってしまい、人口の減少傾向にも拍車がかかるでしょう。糸島市の将来のためにも国保税引き上げは中止すべきです。

要請事項

今回の答申に基づく国保税の引き上げは行わないこと

氏名	住所

糸島市国保税引き上げストップ連絡会

（ 取り扱い ）